

メアリー・ホークスワース著(新井美佐子、左高慎也、島袋海理、見崎恵子共訳) 『ジェンダーと政治理論』(明石書店、2022年)出版記念 オンライン研究会

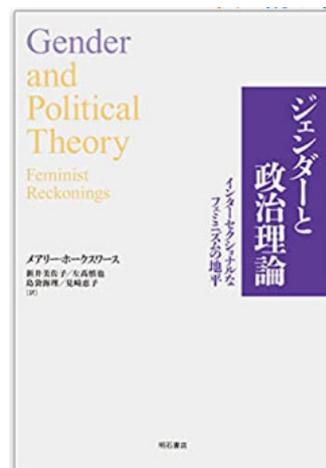
日時: **2022年7月29日(金) 13時~15時**
(最大でも15時30分には終了予定)

■報告タイトル:

メアリー・ホークスワース『ジェンダーと政治理論
——インターセクショナルなフェミニズムの地平』を翻訳して——
「ジェンダーと政治」研究の立場から見た意義と課題

■報告者: **左高慎也**

(名古屋大学大学院法学研究科・日本学術振興会特別研究員)



司会および問い合わせ先: 加藤雅俊(立命館大学産業社会学部・准教授)

mkato@fc.ritsumei.ac.jp

開催形態: Zoomミーティング(事前登録制)

事前登録制

(参加をご希望の方は、7月27日(水)の13時までに、以下のリンク先からお申し込みください。
合評会前日までに、Zoomのミーティングルームのリンク先を送付します)

<https://forms.office.com/r/9u6UXZSfrY>



「ジェンダー」という視点を組み込むことによって、私たちの社会に関する理解はどのように変化するのか。また、「ジェンダー」という視点は、人文社会諸科学にどのような変革をもたらすのか。これらの問いは、現代社会に生きる私たちにとって重要なものであろう。

メアリー・ホークスワース『ジェンダーと政治理論』は、現代フェミニズム研究の重要概念である「インターセクショナルティ(交差性)」に注目し、古今東西の先行研究や豊富な事例に言及しながら、「ジェンダー」という視点が政治学や社会認識にもたらす豊かな知見を明らかにする好著である。本研究会では、翻訳者の一人である左高氏から本書の概要をご紹介いただき、その意義と課題についてご報告いただき、その後ディスカッションを行う。

本企画が、人文社会諸科学における「ジェンダー」の重要性を再考する機会となれば幸いである。

【主催】

- 立命館大学人文科学研究所・重点プログラム「グローバル化と地域の多様性(diversity)」
- 科学研究費・基盤研究(B)「家族主義レジームの変容に関する国際比較研究—家族政策の多様化とその因果的背景」
(研究代表者: 加藤雅俊)